

プロジェクト名	ドイツ人留学生のための日本の料理の紹介
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A2、 「リスニングとスピーキング」 A2～B1
期間	準備期間として毎回の授業の後半 30 分を 3 回 (+ 任意 当該レシピの料理と食事に要する時間)
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生 (後期の後半に実施)
計画案 <small>(課題、目的、学習対象、利用可能なツール、技術的な前提、進行プラン例)</small>	<p><b>課題</b> : 3~4 人で 1 つのグループを作り、日本の料理サイトで見つけたレシピや、身近な人から教えてもらった (あるいは自ら開発した) オリジナルレシピをまとめ、A4 サイズ 1 枚程度の絵入りのレシピカードを作る。また可能なら料理の実際の調理過程をスマホなどで撮って、ドイツ語で紹介する。</p> <p><b>目的</b> : 1) 様々な食品の言い方や果物・野菜などの名前と料理関連の動詞を覚え、それらを用いて料理を作る一連の過程を記述できるようになる (A2 レベルの writing)。2) 新出語彙の発音を自分で調べ、発音できるようになる。</p> <p><b>利用可能なツール</b> :          学生 : 日本の料理サイト (cookpad 等)、ドイツの料理サイト (chefkoch.de・Lecker・Welt Rezepte・DasKochrezept.de)、食品やスーパーのサイト、Glosbe・Reverso Dictionary・Wadoku などのオンライン辞書各種、漫画コマ割り作成用アプリ Strip Designer、Word、PowerPoint、スマートフォン等。</p> <p>教員 : 語学教員用教材共有サイト iSLCOLLECTIVE</p> <p><b>技術的な前提</b> CALL 教室等ができれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、それを提示できれば良い。</p> <p><b>プロジェクト進行プラン</b></p> <p>① 準備 : 1) 教科書で、食事や料理をテーマとした単元を学習し、日本食独自の素材を含め、様々な食品の言い方や果物・野菜・魚などの名前などに慣れておく。2) Wortschatz zum Kochen 等のキーワードで探るか、iSLCOLLECTIVE 等を使っ</p>

	<p>て料理関係の語彙を扱う問題シートをダウンロードし、料理用語として出てくる様々な動詞 (kochen/ braten/ erwärmen/ backen/ schälen/ reiben/ hacken/ schneiden/ zerbröckeln/ gießen/ (ver)rühren/ vermischen/ streuen/ zerdrücken/ auspressen/ servieren 等) を扱っておく。3) süß/ salzig/ sauer/ bitter/ scharf 等の味覚に関わる形容詞もどこかで扱っておく。(これらの活動に役立ちそうなワークシートも、iSLCOLLECTIVE 等の教員用教材共有サイトをさがせば見つけられる。)</p> <p>① 第1週：各々3人～4人程度のグループを作り、日本語の代表的な料理レシピサイト <b>cookpad</b> を使って、自分たちが食べたいと思い、かつ（簡単に）作ることができそうな料理のレシピを1つ選ぶ。その他、身近な人から教えてもらった料理、自ら開発したオリジナルレシピやいわゆる B 級グルメ等でも、本当においしいそうなものなら OK。ドイツのサイトに書いてある日本料理の説明をそのまま使うのは NG。</p> <p>② 第1週～第2週：料理の過程を何段階かに分け、それぞれの段階を記述するとともに適切な画像を付ける。</p> <p>③ 第2週～第3週：Strip Designer、Word、PowerPoint 等のどれかを利用し A4 サイズ1枚に収まるレシピのシートを作成する。</p> <p>④（任意）実際の調理と食事会：料理の過程を口頭で説明する練習をするとともにグループで実際に集まってその料理を作る。その過程をドイツ語で説明かつ実演しながらスマートフォン等で撮影する。さらに食事会の過程などもドイツ語で食レポする</p>
ポイント	<p>1) <u>課題とレシピ提出の期日を明示する。</u></p> <p>2) 内容面では、調理に要する時間や材料の値段や料理の難易度から、<u>自分たちが実際に作ることができそうで、かつぜひ食べてみたいと思う料理を見つけることが重要。</u></p> <p>3) バリエーションとして、御菓子等を含む既存のインスタント食品に思わぬ物を組み合わせて作ったトンデモ料理をテーマにしても良い。</p> <p>4) ドイツ語を話すところを録画する際には、メモは良いが、読み上げはだめと厳命しておく。</p>

プロジェクトシート